

## 公民科

報告者：堀 良輔

### 1 課 題

本校では読解力の育成を学習指導の目標としている。読解力の定義は、OECDの「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力」を参照した。本校の課題である読解力を高めるために、本実践ではテキストの理解を基盤にして熟考する機会を設ける。

### 2 目 標

「【公民科編】高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）」において、「選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。」ことが掲げられている。そのため、今年度の指導の重点として、様々な情報を読み取ったうえで、その内容をまとめたり、それらを踏まえて自分なりの意見を形成したりする力を身につけることに重点をおくこととする。

### 3 具体的方策

各単元において、教科書や書籍、また新聞記事などの諸資料から読み取る活動を重点的に取り入れた。また、資料などから読み取った内容やそれらを踏まえて構成した自分の意見を一人1台端末からMicrosoft Teamsに入力し、クラス内や学年内で共有した。この活動により、資料についての解釈や見解について他者との共有を通して、目標に掲げた力の育成に努めた。

### 4 結 果

各学習活動において、生徒の活動意欲の向上がみられた。また、読み取り内容の質も高まった。以上のことから、本研究活動において取り組んだ学習活動には、目標として掲げた力の育成に一定の成果があったと考える。

### 5 次年度に向けての課題

生徒の学習内容の質をさらに高めるための資料の精選を図ることが課題である。今年度の反省として、生徒の学習の達成度にあわせた資料の選定を適切に図ることができなかったことが挙げられる。また進路実態に即した資料も多くは用意できておらず、学習意欲のさらなる喚起の余地が残る実践・研究となった。次年度はより効果的な資料の選定を重点に教材研究を図っていく必要がある。